

オートベースプラス ホンダNH-704M、NH-727M、日産K25、トヨタ1F1、
フォルクスワーゲンL8Z8 スポット補修塗装要領

上記の塗色については下記の適切な方法で補修してください。

下地処理

サフェーサー部分を最終番手ウェットP1000又はドライP500でサンディングし、ボカシ部分はアシレックスタイプ（ウェットP1500相当）を使用し、サンディングしてください。

混合比(色決め)

オートベースプラス	100部(容量比)
ニュープラスリデューサー	100部(容量比)

塗装方法

1コート:ウェットコート(2~3bar)
2コート:ミディアムコート(2~3bar)
色が染まるまでミディアムコートしてください。

ムラ取り

希釈済塗料へ更にリデューサーを50部(容量比)で添加し
1~2回ムラ取り(エア圧0.8~1.5bar)を行ってください。
(メジャースティックNo.1を使用)
*** 希釈済塗料へ更に50部リデューサーを追加することにより
混合比100:200となります。**

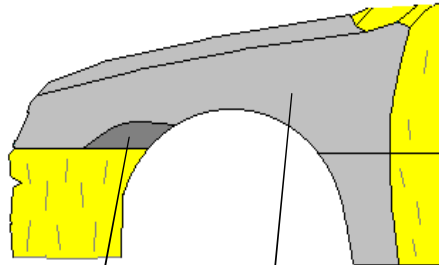
フラッシュオフタイム

20°C/15分以降に下記のクリヤーにて塗り重ねを
することができます。

クリヤーコート

オートクリヤー プラスHS
オートクリヤー ラピッド
オートクリヤー クラシック
オートクリヤー WB
オートクリヤー 4:1
オートクリヤー マット

(ステップ1)



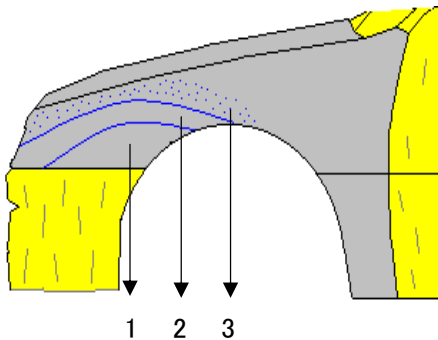
ウェットP1000
又はドライP500

アシレックスタイプ(ウェットP1500相当)

サフェーサー部分を最終番手ウェットP1000又はドライP500でサンディングし、ボカシ部分はアシレックスタイプ(ウェットP1500相当)を使用し、サンディングしてください。

塗装開始前にはディグリーサーM600で脱脂をし、エアブロー及びタッククロスをしてください。

(ステップ2)

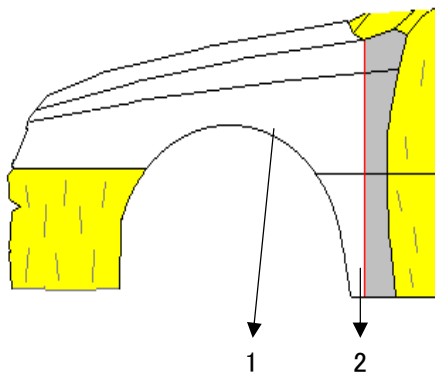


1 2 3

* ボカシ際のオーバーミストを防止する為には先にオートベースプラス プレンディングエージェント(t.i.s.5.2.65J参照)を使用してください。

スポット補修の場合スプレー圧力は最初から最終コートまで0.8~1.5barで設定してください。左記の図のように部分1~2を2回ミディアムコートし、各コートは、オーバーラップします。色決めが終了したら、最終コートは部分3まで大きく希釈済塗料にリデューサーを50部(容量比)で添加してムラ取りをしてください。

(ステップ3)



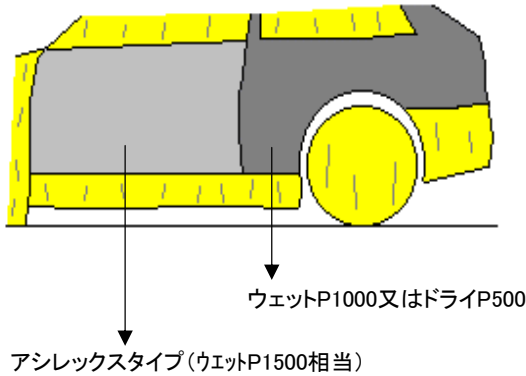
1 2

オートベースプラス塗装終了後、20°C/15分以上フラッシュオフタイムを取ってからクリアーコートしてください。

クリアーコートは、1コート目はオートベースプラスを塗布した箇所までとし(部分1)、最終コートでパネルをブロック塗装してください。(部分2)

オートベースプラス ホンダNH-704M、NH-727M、日産K25、トヨタ1F1、 フォルクスワーゲンL8Z8 パネル補修塗装要領

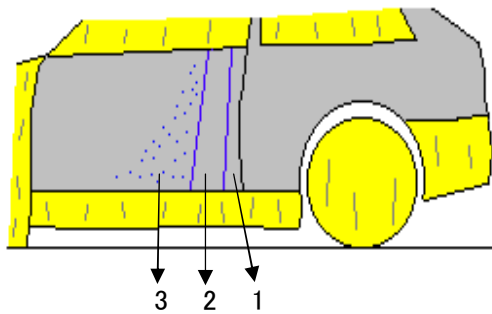
(ステップ1)



左図は、クォーターパネル補修を示しています。
クォーターパネル部分を最終番手ウエットP1000又はドライP500でサンディングし、ボカシ部分(ドア)はアシレックスタイプ(ウエットP1500相当)を使用し、サンディングしてください。

塗装開始前にはディグリーサーM600で脱脂をし、エアブロー及びタッククロスをしてください。

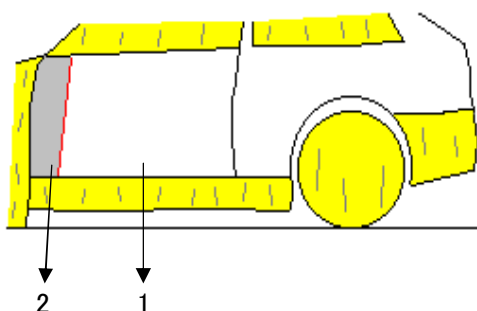
(ステップ2)



* ボカシ際のオーバーミストを防止する為には先にオートベースプラス プレンディングエージェント (t.i.s.5.2.65J参照)を使用してください。

部分1~2まではウエットコート、ミディアムコートし、スプレー圧力は、2.0~3.0barで設定してください。各コートは、オーバーラップします。色決めが終了したら、最終コートは部分3まで大きく希釈済塗料にリデューサーを50部(容量比)で添加してムラ取りをしてください。

(ステップ3)



オートベースプラス塗装終了後、20°C/15分以上フラッシュオフタイムを取ってからクリヤーコートしてください。クリヤーコートは、1コート目はオートベースプラスを塗布した箇所までとし(部分1)、最終コートでパネルをブロック塗装してください。(部分2)